

ブラジル株式・債券・為替市場の動向

新政権への懸念と米国市場の影響でトリプル安だが一過性か

2022年11月15日

ルラ新政権への懸念が広がり、株安・債券安・通貨安のトリプル安

ブラジル金融市場では、先週から株安・債券安（価格の下落、利回りは上昇）・通貨安のトリプル安が急速に進みました。株式市場ではボブスバ指数が11万台後半から11万前後に下落、債券市場では10年国債利回りが12%前後から13%台前半に上昇、為替市場ではブラジル・レアルの対円レートが29円前後から26円前後へレアル安円高に振れました。

市場急変の原因としては、10月の大統領選で勝利し来年初に大統領に就任するルラ氏の政策を、市場参加者が懸念したことが挙げられます。ルラ氏は低所得者層の支持が厚い左派の労働者党に所属しており、ボルソナロ現大統領が今年末までの期限で実施している低所得者向け現金給付の増額（月額400レアルを同600レアルに拡充）を恒久化することや、6歳以下の子供1人あたり同150レアルの給付を追加することなどを選挙公約として掲げていました。このため、市場で財政悪化への懸念がくすぶっていましたが、ルラ氏が先週改めて社会保障支出の拡大を優先する姿勢を示したことや、市場の懸念を軽視するような発言をしたことで、市場参加者の不安が高まったようです。また、市場の信認が厚いメイレス氏（元中央銀行総裁）の経済相就任が見送られるとの観測も、市場心理の悪化に拍車をかけたとみられます。

ただ、市場の反応には行き過ぎの面もあると思われます。現金給付増額の延長は大統領選に出馬したボルソナロ氏も主張していたため、一度は市場に織り込まれていたとみられることや、大統領選とともに実施された議会選挙では、ルラ氏の対抗勢力である右派や中道派が過半を大きく上回る議席を獲得しており、ルラ氏の主張する財政支出拡大策の実現は容易でないと考えられるためです。

Ⅰ ブラジル株式市場・債券市場の推移



（出所）ブルームバーグ

米国市場の急変もブラジル市場トリプル安の一因

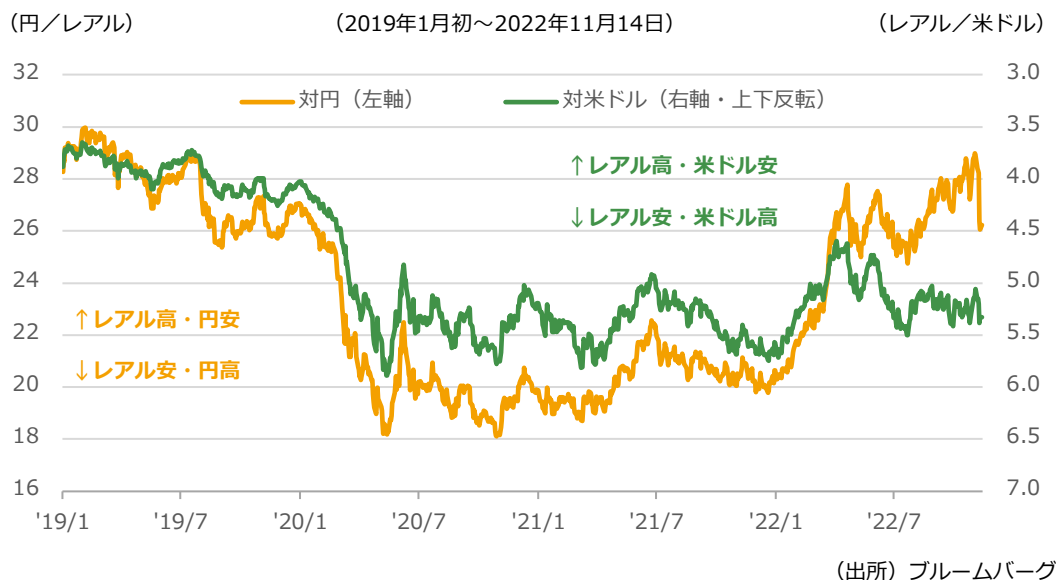
ブラジル市場の株安・債券安に関しては、米国市場の急変も大きく影響したと考えられます。11月10日（現地）に発表された米10月CPI（消費者物価指数）が市場の予想を下回ったことで米国の利上げ減速思惑が高まり、米株高・米債券高（価格の上昇、利回りは低下）が進みました。この結果、それまでブラジル市場に流入していた投資資金が米国市場にシフトしたと推測されます。また、為替市場では米ドル安円高が急速に進んだことで、レアル円相場も大きくレアル安円高に振れ、円ベースでみた場合のブラジル株安・債券安をより拡大させる要因になりました。

ブラジル市場のトリプル安は一過性とみる

ルラ氏の政策への懸念ですが、前述のように議会勢力を勘案すれば、その政策が全て実現するとは考えづらいことや、2003年から2期8年にわたり大統領としてブラジル経済を躍進させたルラ氏自身の実績が今回の大統領選勝利の理由の1つとみるならば、市場の反応は行き過ぎていると思われます。

米国市場に関しても、利上げの減速は見込まれますが高めの政策金利は当面維持されるため、ここ数日の勢いで米株高・米国債利回り低下・米ドル安円高が続くとは考えづらく、この面でのブラジル市場への悪影響にも限度があるでしょう。ブラジルはインフレの沈静化により来年は他国に先駆けて利下げへの転換が想定されるため、ブラジルの株式・債券の相対的優位性は保たれているとみられ、また、それらへの資金流入がレアルのサポート要因にもなると考えられることから、足元のトリプル安は一過性のものと留まると予想しています。

■ ブラジル為替市場の推移（ブラジル・レアルの対円、対米ドルレート）



当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。